

原初の叫びを上げるもの

ニック・ブリンコ 著・イラスト
鈴木 智士 訳



著者について：1961年イギリス生まれ。彼の描くイラストはパンク・シーンのみならず、アウトサイダー・アートのシーンでも高く評価され、世界中で個展が開かれている。

1980年から現在も活動続けるUKアナーコ・パンクのカルト・バンド、Rudimentary Peniのギター・ボーカルであり、近年はアウトサイダー・アートのシーンでも評価著しい画家ニック・ブリンコによる、1995年発表のイラスト入り半自伝的小説の日本語訳。80年代初頭のロンドンのパンク・シーン、精神病、抑鬱、催眠、夢、イングランドの暗い歴史、生と死、幻視、ラヴクラフトなどを荒々しく混交させながら、精神科医の日記調で語られる、唯一無二のサイキック・アナーコ・パンク・ホラー。

訳者あとがきとして、アナーコ・パンク、バンド概史を掲載。

【あらすじ】

1979年11月20日、18歳の青年ナットは自ら両手首を切り、病院へ運び込まれた。彼を担当することになった精神科医は、ナットを支配する破滅的な感情の原因を探るため、さまざまな精神療法を試み、抑圧された幼少期を追体験することでトラウマを克服する「原初療法」を行うことを決意する。死の願望とともに生きるナットは、やがてパンク・バンドを結成し、ロンドンのスクワット、アナーキー・センターでライブを行うようになる。ナットの治療を続ける医師がその先に見たものとは……。

2026年3月27日発売 イラスト入り A5 判 並製 192 ページ 定価 2000 円 + 税

Gray Window Press は、ハードコア・パンクやその周辺の文化を扱うインディペンデント出版レーベルです。

取扱い取次：八木書店 ※日販、トーハン、楽天ブックスネットワーク、中央社、日教販他、取次経由可

注文 FAX：03-3291-2962（八木書店）

条件：注文分のみ発送

3ヶ月以降返品可

※配本部数に余裕がないため、出荷調整をさせていただく場合があります

※返品をいただいた時に、現品の状態が良くない場合はお受けできないことがあります。

※返品の際は取次店からの逆送を防ぐために、返品了解書をご用意下さい。

貴店印

ご担当者様

様

冊

原初の叫びを上げるもの

ニック・ブリンコ[著・イラスト] / 鈴木 智士 [訳]

発行：Gray Window Press（取扱：八木書店）

ISBN：978-4-9910725-6-7 C0097 / 定価：2000円+税



Gray Window Press

<https://graywindowpress.com/>

mail@graywindowpress.com

tel: 070-8396-0340

担当：鈴木